

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	臓器移植対策事業		担当部局庁	健康局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度		担当課室	疾病対策課臓器移植対策室		室長 泉 潤一	
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-5-3 適切な移植医療を推進すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	臓器の移植に関する法律		関係する計画、通知等	・「臓器の移植に関する法律の運用に関する指針(ガイドライン)」(平成9年10月8日 健医発第1329号 厚生省保健医療局長通知) ・臓器移植対策事業の実施について			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	臓器移植を公平・公正に実施するための臓器提供のあっせん体制の確保、移植医療の理解を深め、臓器提供に関する意思表示をしていただける環境を整えるための普及啓発及び臓器移植に関する研究を行うことで臓器移植の公平かつ効果的な実施を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①臓器移植のあっせんに関する事業【補助率】定額 臓器移植法第12条に基づくあっせん機関として臓器移植に係る連絡調整等を行う。 ②臓器移植あっせん事業体制の整備に関する事業【補助率】定額 臓器提供医療機関の体制整備を支援するとともに、あっせん事業の従事者に対する研修を行う。 ③臓器移植に係る普及啓発に関する事業【補助率】定額(1/2) 広く国民に移植医療を啓発し、臓器提供に関する意思表示が行われる環境を整える。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	808	719	665	636	660
		補正予算	▲25				
		繰越し等					
	計	783	719	665	636	660	
	執行額	741	683	665			
執行率(%)	94.64%	94.99%	100.00%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	○臓器提供意思登録システム登録者数 【参考】 ・脳死下臓器提供者数に占める意思表示のあった者の割合(改正法施行後) ※H22.7の改正法施行により本人の臓器提供の意思が不明の場合、家族の書面による承諾により、脳死判定、臓器摘出が可能となった。 ・臓器提供者数 ・臓器移植者数	成果実績	人	95,068	107,634	117,386	前年度以上
		達成度	%	163.59%	113.22%	109.06%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	臓器提供意思登録システム新規登録者数	活動実績(当初見込み)	人	40,803	18,654	12,509	—
		活動実績(当初見込み)	人	当該年度登録抹消者数<当該年度新規登録者数	当該年度登録抹消者数<当該年度新規登録者数	当該年度登録抹消者数<当該年度新規登録者数	当該年度登録抹消者数<当該年度新規登録者数
臓器提供意思表示カード(シール含む)配布枚数	活動実績(当初見込み)	人	11,239,410	3,197,418	2,603,377	—	
単位当たりコスト	①2,313,902円/移植1件当たりコスト(角膜除く) ②410,489円/移植1件当たりコスト(角膜含む)		算出根拠	平成24年度の補助金(実際のNWの執行額)÷平成24年度の移植件数=1件あたりコスト ①726,565,391円 ÷ 314件(角膜除く) = 2,313,902円 ②726,565,391円 ÷ 1,770件(角膜含む) = 410,489円			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	あっせん業務関係事業費	346	370	臓器移植を適切に実施するために必要な臓器移植コーディネーターの人員増 24			
	あっせん事業体制整備費	263	263				
	普及啓発事業費	17	17				
	運営管理費	10	10				
	計	636	660				

事業所管部局による点検			
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	臓器移植は、病気や事故によって臓器が機能しなくなった方に対し、他の方の臓器を移植して、機能を回復させる医療であり、臓器不全に対する根治治療として、患者にとっての大きな希望となっている。 また、移植には必ず患者とドナーを結びつけるあっせん機関が必要であるが、あっせん機関は営利を目的とすることは許されていないため、あっせん機関の安定的な運営を図るためには、国費を投入する必要がある。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	移植機会の公平性を確保するため、全国的な第三者機関のあっせん機関が必要であり、臓器移植法に基づき、現在、日本臓器移植ネットワークが臓器のあっせん業を全国統一的に実施している。また、日本臓器移植ネットワークは営利事業を行うことができないため、臓器あっせんの適正な実施及び当ネットワークの安定的な運営のため、国が補助を行う必要がある。
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	臓器移植は病気や事故によって臓器が機能しなくなった方に、他の方の健康な臓器を移植して、機能を回復させる医療であり、他に代替手段がない医療であることから、優先順位は高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	×	臓器あっせん業務を適切かつ効率的に推進していくため、レシピエント検索システム、臓器提供意思登録システムの保守業務等については、臓器移植NWの契約に関する細則に基づき、当該システムの構築業者との間で随意契約を締結しているが、一般競争入札とするのがふさわしい事業については、競争性を確保するため一般競争入札を行っている。
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	臓器提供、臓器移植については、「提供する権利」、「提供しない権利」、「受ける権利」、「受けない権利」をそれぞれの考えが尊重されるべきであり、そのために臓器提供のあっせん体制の確保、意思表示の機会の整備、普及啓発等を行っている。これらにより、移植医療の理解の促進、公平な臓器あっせんが図られるものであり、負担関係は妥当である。
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○	健康保険証及び運転免許証に意思表示欄が設けられているため、臓器提供意思表示カード作成費等の見直しを行う予定。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	事業の効率的かつ効果的な実施を図るために、必要なシステムの保守等を再委託して支出しているものであり、合理的である。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	臓器移植については、臓器提供者の家族に対する説明、医療施設間の連絡調整、摘出された臓器の搬送、移植患者の選定等多岐にわたる業務により成り立っており、臓器あっせん業に必要な費目を補助対象経費としている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—	—
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—	—
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	国としては、臓器移植への理解を深めていただくことにより、臓器を提供する、しないにかかわらず意思表示をしていただくことを一つの目的としている。そのため、臓器提供意思表示の機会として意思表示カードの作成や健康保険証、運転免許証に意思表示欄を設けるなどの体制整備を図っており、様々な考えを持つ方々に配慮した方法として適切と考える。 また、臓器提供意思登録システムの新規登録者数も、目標としている当該年度の登録抹消者数<当該年度の新規登録者数となっており、見込みに見合った活動となっていると考えられる。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	運転免許証の裏に意思表示欄が設けられたことから、現在、自動車教習所においても意思表示等に関する普及啓発を行っている。また、臓器提供意思表示カードの作成及びコンビニエンスストア等の協力も仰ぎ、配布も広く行っており、成果物は十分に活用されていると考えられる。
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—	—
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名

点 検 結 果	<p>移植機会の公平性を確保すること、かつ適切で効果的な移植を実施するための臓器配分が行われることが必要であることから、臓器のあっせんは、日本臓器移植ネットワークが全国の情報を一元的に管理し実施している。</p> <p>臓器提供は、発生のタイミング、発生場所、運搬方法等、事例ごとに臨機応変で迅速な対応が必要であり、当該団体においてはこれまで蓄積されたノウハウを活用し、全国一律の移植者の選定基準のもと、臓器移植を適切かつ公平に実施している。</p> <p>また倫理的な観点から、あっせんの対価として財産上の利益を得ることは法律上禁止されているため、補助金を含めた限られた財源の中で、公平で適切な臓器移植を行っている。</p> <p>平成24年度は、普及啓発活動により、着実に臓器提供意思登録システム登録者数が増加している。今後は、より効率的、効果的に臓器移植対策事業の推進を図る必要がある。</p>				
	外部有識者の所見				
<p>執行管理も含め、適切な執行に努めること。(長崎、井出)</p>					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現 状 通 り	<p>臓器移植に係るあっせん業務や普及啓発によるドナーの確保等により、公平かつ効果的な臓器移植の推進を図る事業であるが、事業の必要性及び執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。</p>				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現 状 通 り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	172	平成23年	149	平成24年	121

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省 665百万円
公益社団法人日本臓器移植ネットワークに対し、臓器移植法第12条に基づくあっせん業を許可。
臓器移植法第3条に基づき、移植医療について国民の理解を深めるために必要な措置を講じるよう努める。

A. 公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク
665百万円(総事業費(NW負担も含め):726百万円)
臓器移植を公平に実施するため、臓器移植法第12条に基づく国内唯一のあっせん機関として臓器移植に係る連絡調整を行う。

【随意契約】

B. (株)メディアトラスト
15百万円
臓器提供意思登録システム、ドナー情報伝送システム保守料、HP改修業務委託、臓器提供シミュレーション業務委託

【随意契約】

C. ACジャパン
15百万円
公共広告業務委託

【随意契約】

D. (株)エヌ・ティ・ティ・データ関西
10百万円
移植対象者検索システム保守業務委託
2百万円
移植対象者(レシピエント)検索システムの改修及びレシピエント選択基準変更プログラム改修の委託。

【指名競争入札】

G. (株)歳時記屋
4百万円
臓器移植推進国民大会イベント業務委託

【随意契約】

H. (株)桜映画社
3百万円
HP用映像撮影及び編集業務委託

【随意契約】

M. (株)読売エージェンシー
1百万円
臓器提供意思登録推進映像放映業務委託

【随意契約】

L. 日立インターメディックス(株)
1百万円
臓器移植解説集編集業務委託

【助成】

E. 公益財団法人 日本アイバンク協会
7百万円

角膜移植に対する普及啓発及び広域的な角膜あっせん体制整備や角膜移植推進方策の検討を行う角膜広域活動連絡会の開催など角膜提供者確保事業を実施。

【随意契約】

F. 日本カーライフアシスト(株)
6百万円
JACLA VISION(自動車教習所の広報媒体)映像制作、放映業務委託

【随意契約】

J. (株)メディアコンテンツファクトリー
3百万円
臓器移植に関する意識調査業務委託

【随意契約】

I. (株)マイナビ
3百万円
WEB広告作成及び掲載業務委託

【随意契約】

K. 東京女子医科大学病院
1百万円
ウエストナイルウイルス検査業務委託

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目	A.公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク		費目	E.日本アイバンク協会	
	用途	金額 (百万円)		用途	金額 (百万円)
人件費	臓器移植連絡調整者、情報管理者等人件費	301	雑役務費	角膜広域活動連絡会開催等	7
旅費	あっせん時、病院巡回活動時等旅費	86			
印刷製本費	臓器提供意思表示カード等印刷製本費	76	計		7
外部委託	臓器提供意思登録システム等委託	15	F.日本カーライフアシスト(株)		
	ACジャパンによる公共放送業務委託	15	費目	用途	金額 (百万円)
	移植対象者検索システム保守業務等委託	12	雑役務費	JACLA VISION映像制作業務	6
	JACLA VISIONの映像制作等委託	6	計		6
	臓器移植全国大会業務委託	4	G.(株)歳時記屋		
	HP用映像撮影、編集業務委託	3	費目	用途	金額 (百万円)
	WEB広告作成、掲載業務委託	3	雑役務費	臓器移植推進国民大会イベント業務	4
	臓器移植に関する意識調査業務委託	3	計		4
	ウエストナイルウイルス検査業務委託	1	H.(株)桜映画社		
	臓器移植解説集編集業務委託	1	費目	用途	金額 (百万円)
臓器提供意思登録推進映像放映業務委託	1	雑役務費	HP用映像撮影、編集業務	3	
賃借料	事務所、事務用機器等賃借料	64	計		3
通信運搬費	電話代、資材発送等通信運搬費	49	I.(株)マイナビ		
検査費	レシピエント登録に係るHLA検査費	17	費目	用途	金額 (百万円)
諸謝金	会議開催時講師等謝金	14	雑役務費	WEB広告作成及び掲載業務委託	3
消耗品費	事務用消耗品	11	計		3
使用料	会議開催時会場、備品等使用料	10	J.(株)メディアコンテンツファクトリー		
助成費	日本アイバンク協会、あっせん時提供施設助成	7	費目	用途	金額 (百万円)
雑役務費	振込手数料等雑役務費	8	雑役務費	臓器移植に関する意識調査業務	3
その他	提供病院院内体制整備事業費等	16	計		3
会議費	会議開催時出席者お茶代	3	K.東京女子医科大学病院		
計		726	費目	用途	金額 (百万円)
B.(株)メディアトラスト			雑役務費	ウエストナイルウイルス検査業務	1
費目	用途	金額 (百万円)	計		1
雑役務費	臓器提供意思登録システム等委託	15	L.日立インターメディックス(株)		
計		15	費目	用途	金額 (百万円)
C.ACジャパン			雑役務費	臓器移植解説集編集業務	1
費目	用途	金額 (百万円)	計		1
雑役務費	公共放送作成業務	15	M.(株)読売エージェンシー		
計		15	費目	用途	金額 (百万円)
D.(株)エヌ・ティ・ティ・データ関西			雑役務費	臓器提供意思登録推進映像放映業務	1
費目	用途	金額 (百万円)	計		1
雑役務費	移植対象者検索システム保守業務委託	10			
雑役務費	移植対象者検索システムの改修	2			
計		12			
			計		1

費目・用途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と用途
の双方で実情が
分かるように記
載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク	臓器提供・移植に係るあっせん業務、普及啓発等	665 (総事業費: 726)		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	メディアトラスト	臓器提供意思登録システム、ドナー情報伝送システム保守、HP改修業務	15	随意契約	

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ACジャパン	公共広告の作成業務	15	随意契約	

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	エヌ・ティ・ティ・データ関西	移植対象者検索システム保守業務、改修	12	随意契約	

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本アイバンク協会	角膜移植に対する普及啓発や連絡会の開催	7		

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本カーライフアシスト	JACLA VISIONの映像制作、放映業務	6	随意契約	

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	歳時記屋	臓器移植推進国民大会イベント業務	4	4	25%

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	桜映画社	HP用映像撮影、編集業務	3	随意契約	

I.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	マイナビ	WEB広告作成、掲載業務	3	随意契約	

J.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	メディアコンテンツファクトリー	臓器移植に関する意識調査業務委託	3	随意契約	

K.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京女子医科大学病院	ウエストナイルウイルス検査業務	1	随意契約	

L.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日立インターメディックス(株)	臓器移植解説集編集業務	1	随意契約	

M.

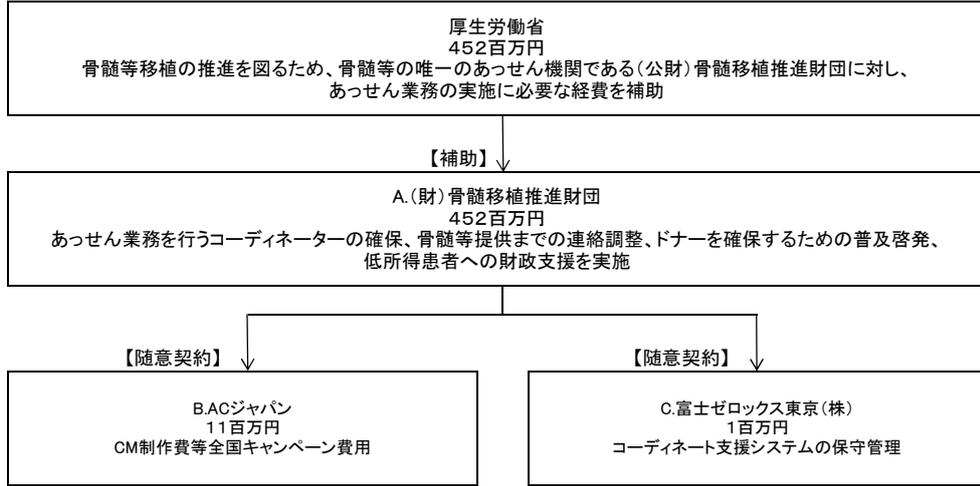
	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)読売エージェンシー	臓器提供意思登録推進映像放映業務	1	随意契約	

平成25年行政事業レビューシート (厚生労働省)

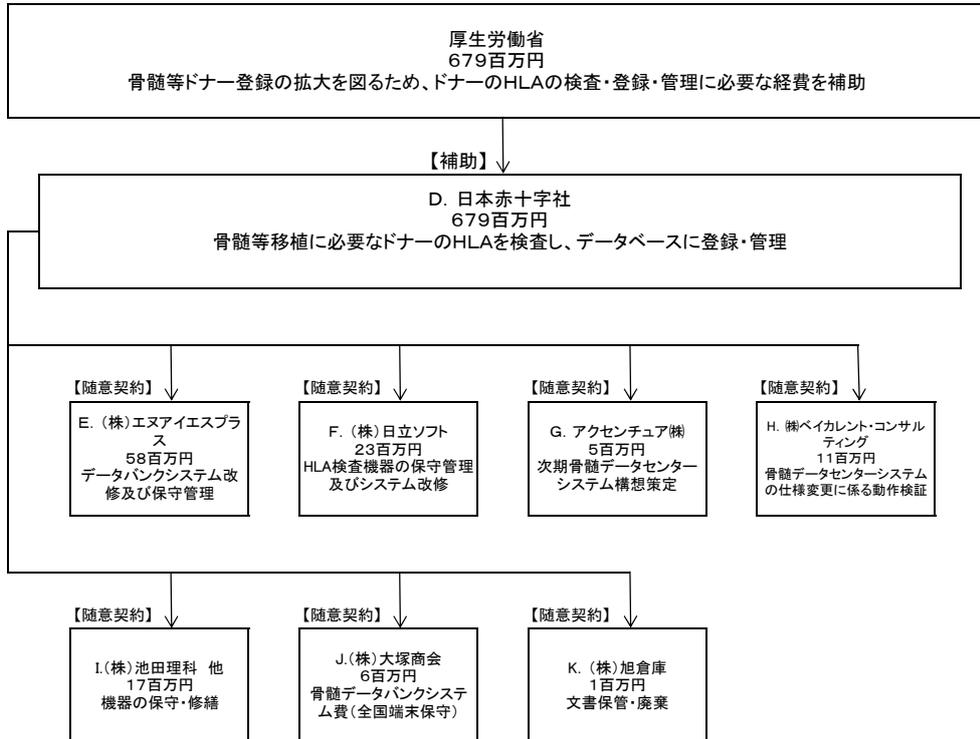
事業名	移植対策（造血幹細胞）事業		担当部局庁	健康局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度		担当課室	疾病対策課臓器移植対策室	室長 泉 潤一			
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-5-3 適切な移植医療を推進すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律		関係する計画、通知等	・「骨髄バンク事業の推進について」(平成3年12月18日 健医発第1462号 厚生省保健医療局長通知) ・「骨髄データセンター業務の協力依頼について」(平成3年12月2日 健医発第1388号 厚生省保健医療局長通知) ・「平成11年度における臍帯血移植推進事業について」(平成11年6月2日 健医発第841の2号 厚生省保健医療局長通知) ・骨髄移植対策事業の実施について ・さい帯血移植対策事業の実施について				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	白血病等の治療に有効な造血幹細胞移植を推進するため。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	別紙のとおり							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算		53				
		繰越し等						
		計	1,733	1,826	1,784	1,808	1,909	
	執行額	1,733	1,826	1,784				
	執行率(%)	100%	100%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	①骨髄等移植ドナー登録者数 ②非血縁者間骨髄等移植実施数 ③非血縁者間臍帯血移植実施数	成果実績①	人	380,457	407,871	429,687	前年度以上	
		達成度①	%	106.5	107.2	105.3		
		成果実績②	人	1,192	1,272	1,338	前年度以上	
		達成度②	%	96.8	106.7	105.2		
		成果実績③	人	1,074	1,106	1,198	前年度以上	
達成度③		%	122.7	103.0	108.3			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	①ドナー登録会開催数 ②骨髄等ドナー新規登録者数 ③臍帯血新規公開件数	活動実績① (当初見込み)	回	3,895	4,312 (前年度以上)	3,744 (前年度以上)	— (前年度以上)	
		活動実績② (当初見込み)	人	36,727	41,920 (前年度以上)	38,060 (前年度以上)	— (前年度以上)	
		活動実績③ (当初見込み)	本	3,497	3,068 (前年度以上)	2,841 (前年度以上)	— (前年度以上)	
算出根拠		平成24年度の補助金(骨髄移植等事業) ÷ 平成24年度の骨髄等ドナー新規登録者 = 単位あたりコスト 701,968,000円(平成24年度) ÷ 38,060人(平成24年度) = 18,444円						
単当たりコスト	18,444(円/人)							
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	①骨髄データバンク登録事業	665	728	骨髄等提供者をデータバンクに登録する際のHLA型の検査等に係る経費の増 62				
	②造血幹細胞移植患者・ドナー情報登録支援事業	31	73	「新しい日本のための優先課題推進枠」73				
	③さい帯血移植対策事業	645	610	造血幹細胞提供支援機関業務経費への一部業務移管による減 35				
	(1)さい帯血保存管理業務(あっせん業務)費	601	596					
	(2)さい帯血情報管理経費	25	0					
	(3)日本さい帯血バンクネットワーク運営会議費	1	0					
	(4)さい帯血移植等共同支援事業費	18	15					
	④骨髄移植対策事業	466	468					
	(1)あっせん業務関係事業費	357	359					
	(2)あっせん事業体制整備費	15	15					
	(3)普及啓発事業費	93	93					
	⑤造血幹細胞提供支援機関業務経費	0	31					
計	1,808	1,909						

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
必要投入の		広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	白血病等の血液疾患の患者にとって、造血幹細胞移植は非常に有効な治療法であり、広く国民のニーズがあり、国費を投入すべき事業である。		
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	ドナーと患者を結びつけるあっせん事業者及び臍帯血供給事業者が必要であり、当該事業者は、公平・中立であることに加え、営利を目的とする団体であってはならず、現在は(公財)骨髄移植推進財団及び全国8つの公的さい帯血バンクが事業を行っている。		
		明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	骨髄・末梢血幹細胞移植ドナー登録者数は近年増加傾向にあり、平成24年度末で42万人を超えており、優先度が高い事業である。		
事業の効率性		競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	×	骨髄移植等に必要のHLA(白血球の型)データを確実に管理するため、ドナーのHLA情報の管理システムの保守業務等については、当該システム構築業者との間で契約を締結している。		
		受益者との負担関係は妥当であるか。	○	造血幹細胞提供についてはドナーの善意が、移植については安全・公平に移植が行われるようあっせん体制の確保がそれぞれ必要であることから、ドナー情報の確実な管理、普及啓発等を行っており、負担関係は妥当と考える。		
		単位当たりコストの水準は妥当か。	○	ドナー登録について、献血併行型での登録会を多く開催するなど、効率的な登録が行えるよう努力している。		
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	事業の効率のかつ効果的な実施を図るために必要なシステムの保守等を再委託して支出しているものであり、合理的である。		
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	造血幹細胞移植については、ドナーのHLA情報の登録・管理、骨髄・末梢血幹細胞移植のあっせん業務、臍帯血の採取、調整保存に係る経費など必要な事業を補助対象としている。		
		不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—	—		
		事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—	—		
事業の有効性		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	骨髄・末梢血幹細胞移植ドナー登録者数は近年増加傾向にあり、平成24年度末で42万人を超えており、移植数も着実に増加している。		
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	骨髄ドナー登録者及び公開臍帯血の情報は、補助対象としている造血幹細胞適合サービスに登録・管理され、この情報を元に非血縁者間の造血幹細胞移植が行われている。		
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—	—		
重複排除	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	造血幹細胞移植における事業については、職員及び多数のボランティアなど、全国に蓄積されたノウハウを活用して、公平かつ迅速な事業の推進及び多くのドナー登録者の確保、臍帯血の調整・保存等、効果的かつ効率的に事業を実施している。 また、移植の公平性の確保という観点から非血縁者間の骨髄移植・末梢血幹細胞移植のあっせん業務については骨髄バンクが、臍帯血移植に必要な臍帯血の調製保存管理業務については全国8の公的バンクがそれぞれ事業を行っている。 平成24年度は、ドナー登録会の実施や普及啓発活動により、着実に骨髄等移植ドナー登録者数が増加している。今後は、より効率的、効果的に造血幹細胞移植対策事業の推進を図る必要がある。					
外部有識者の所見						
引き続き適切執行に努めること。(長崎、井出)						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	骨髄データバンクの管理や骨髄移植のあっせん、さい帯血のデータ管理等を行い、公平・迅速・適切な造血幹細胞移植の推進を図るための事業であるが、事業の必要性及び執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	173	平成23年	150	平成24年	122

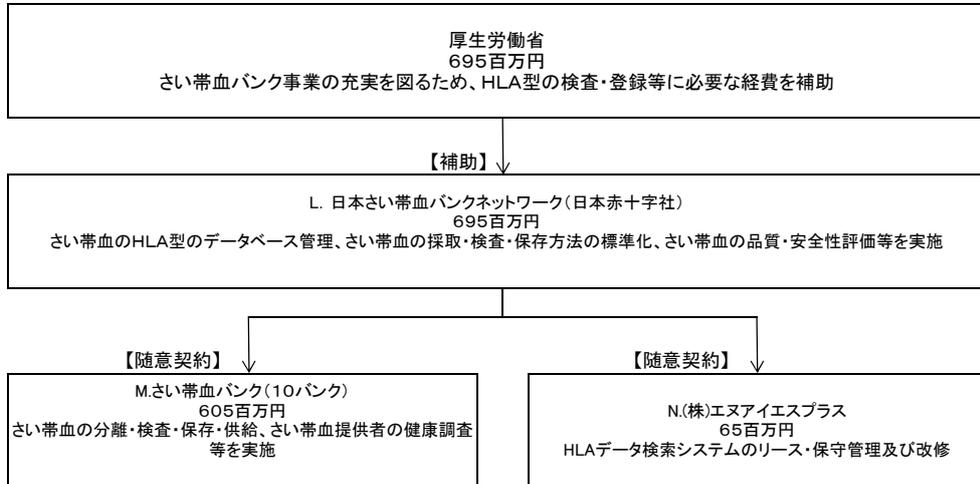
①骨髄移植対策事業



②骨髄データバンク登録事業



③さい帯血移植対策事業



※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載

A. (財) 骨髓移植推進財団			F. (株) 日立ソフト		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	コーディネーター等あつせん業務従事者の給与	173	委託費	システム改修及び検査機器の保守管理	23
賃金	一般コーディネーター賃金	62	計		23
患者負担金免除費	低所得患者の負担金免除	60	G. アクセンチュア(株)		
借料	コーディネート支援システムリース料、事務機器リース料、ドナー登録会場費	39	費目	使途	金額 (百万円)
通信運搬費	郵送料、電話代	36	委託費	次期骨髓データセンターシステム構想策定業務	5
諸謝金	調整医師・最終同意立会弁護士・研修会講師・説明員への謝金	30	計		5
旅費	コーディネート活動、広報活動、研修会出席	24	H.(株)ベイカレント・コンサルティング		
委託費	ACジャパン CM制作費等全国キャンペーン費用	11	費目	使途	金額 (百万円)
	富士ゼロックス東京(株) コーディネート支援システムの保守管理	1	委託費	骨髓データセンターシステムの仕様変更に係る動作検証	11
印刷製本費	パンフレット、リーフレット、ポスター、広報誌、ドナーへの説明書	7	計		11
雑役務費	広報資材制作、インターネット業務	5	I.(株)池田理科		
消耗品費	事務用品	3	費目	使途	金額 (百万円)
その他	会議費、データバックアップ保管料	1	委託費	機器の保守・修繕	13.5
計		452	計		13.5
B. ACジャパン			J.(株)大塚商会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	CM制作費等全国キャンペーン費用	11	委託費	骨髓データバンクシステム費(全国端末保守)	6
計		11	計		6
C. 富士ゼロックス東京(株)			K.(株)旭倉庫		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	コーディネート支援システムの保守管理	1	委託費	文書保管・廃棄	1
計		1	計		1
D. 日本赤十字社			L. 日本さい帯血バンクネットワーク		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	検査技師・事務職員給与	269	推進事業費	さい帯血バンクに対する検査・保存等経費の配分	605
検査費	HLA検査費	149	人件費	事務職員給与	16
委託費	(株)エヌアイエスプラス システム保守管理、システム改修	58	委託費	(株)エヌアイエスプラス HLAデータ検索システムのリース・保守管理及び改修	65
	(株)日立ソフト システム改修、検査機器の保守	23	旅費	各種委員会の開催	6
	アクセンチュア(株) 次期骨髓データセンターシステム構想策定	5	印刷製本費	広報誌、リーフレット	1
	(株)ベイカレント・コンサルティング 骨髓データセンターシステムの仕様変更に係る動作検証	11	その他	通信運搬費、消耗品費、会議費、雑役務費	2
	(株)池田理科 他 機器の保守・修繕	17	計		695
	(株)大塚商会 骨髓データバンクシステム費(全国端末保守)	6	M. 東京臍帯血バンク		
	旭倉庫(株) 文書保管・廃棄	1	費目	使途	金額 (百万円)
使用料	HLA検査機器リース料、データバンクシステムリース料	97	人件費	さい帯血管理従事者給与	65
通信運搬費	郵送料、通信回線費、検体輸送費	30	検査費	HLA検査費	51
消耗品費	採血管、事務用品	7	雑役務費	検査機器の保守点検費	8
印刷製本費	封筒、台紙	3	諸謝金	採取協力費	3
旅費	研修会出席、会議出席	1	旅費	採取施設訪問、採取技術研修出席	2
その他	固定資産、準備消耗品	0	借料	さい帯血運搬用車両リース料、複写機借料	1
	その他データセンター管理費	2	その他	通信運搬費、消耗品費、会議費	2
計		679	計		132
E. (株)エヌアイエスプラス			N.(株)エヌアイエスプラス		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	データバンクシステムの改修及び保守管理	58	委託費	HLAデータ検索システムのリース・保守管理及び改修	65
計		58	計		65

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財) 骨髄移植推進財団	骨髄移植等におけるあっせん業務等	452		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ACジャパン	CM制作費等全国キャンペーン費用	11	随意契約	

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士ゼロックス東京(株)	コーディネート支援システムの保守管理	1	随意契約	

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本赤十字社	HLA検査、HLAデータの管理等	679	随意契約	

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株) エヌアイエスプラス	データバンクシステムの改修及び保守管理	58	随意契約	

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株) 日立ソフト	HLA検査機器の保守管理及びシステム改修	23	随意契約	

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	アクセンチュア(株)	次期骨髄データセンターシステム構想策定業務	5	随意契約	

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株) バイカレント・コンサルティング	骨髄データセンターシステムの仕様変更に係る動作検証	11	随意契約	

I.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株) 池田理科	機器の保守・修繕	13.5	随意契約	
2	(株) ユヤマ医理科	"	1.5	随意契約	
3	(株) インターバイオテクノ	"	1.2	随意契約	
4	ライフテクノロジー・ジャパン(株)	"	1.2	随意契約	

J.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株) 大塚商会	骨髄データバンクシステム費(全国端末保守)	6	随意契約	

K.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株) 旭倉庫	文書保管・廃棄	1	随意契約	

L.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本さい帯血バンクネットワーク	さい帯血バンクに対する検査・保存等経費の配分等	695		

M.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京臍帯血バンク	さい帯血の採取、検査、保存等の事業	132		
2	京阪さい帯血バンク	"	98		
3	東京都赤十字血液センターさい帯血バンク	"	89		
4	東海大学臍帯血バンク	"	86		
5	兵庫さい帯血バンク	"	56		
6	東海臍帯血バンク	"	40		
7	北海道臍帯血バンク	"	36		
8	福岡県赤十字血液センターさい帯血バンク	"	35		
9	宮城さい帯血バンク	"	19		
10	中国四国臍帯血バンク	"	15		

N.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エヌアイエスプラス	HLAデータ検索システムのリース・保守管理	65	随意契約	
2					

【事業概要】

①骨髄等移植対策事業

事業概要	<p>1. 骨髄等のあっせんに関する事業 白血病等の治療に有効な骨髄移植や末梢血幹細胞移植を公平に実施するため、第三者機関である骨髄移植推進財団があっせん機関として骨髄移植等に係る連絡調整を行う(国際的なあっせんを含む)。また、骨髄等提供登録者(ドナー)の登録内容の定期的更新等を行う。</p> <p>2. 骨髄移植等に係る普及啓発に関する事業 一人でも多くの患者に骨髄移植等の機会を提供できるよう、骨髄等提供希望者を確保するための普及啓発事業、骨髄等提供希望者への説明を行うボランティアに対する研修事業、ドナー登録会の開催及び低所得者の患者負担金免除事業を行う。</p> <p>補助率:定額(1/2・10/10)</p>
-------------	---

②骨髄データバンク登録事業

事業概要	<p>白血病等の患者に移植した骨髄がうまく機能するには、骨髄等提供希望者と患者の間でHLA(白血球の型)を一致させる必要がある。HLAが一致する確率は数百から数万分の1であるため、HLAの適合率を高め、移植の機会を公平に確保するには、広く国民から骨髄等提供希望者を募り、多くのHLAを登録し、患者への骨髄等の提供に結びつける必要がある。このため、本事業では、骨髄等提供希望者のHLAを検査し、データバンクへの登録・管理を行っている。</p> <p>補助率:定額</p>
-------------	--

③さい帯血移植対策事業

事業概要	<p>さい帯血移植は骨髄移植と同様に、白血病等の重い血液疾患に対して有効な治療法である。本事業では、無償提供されたさい帯血のHLAを検査し、データベースに登録・管理するとともに、さい帯血を-196℃の液体窒素中で凍結保存し、必要とする患者に供給している。一人でも多くの患者を救うため、より移植に適した細胞数の多いさい帯血を保存しつつ、安全なさい帯血移植実施体制の整備を行っている。</p> <p>補助率:定額</p>
-------------	--

【実施状況】

①骨髄等移植対策事業、②骨髄データバンク登録事業

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・骨髄バンクのドナー登録者数:429,687人(平成24年度末現在) ・骨髄バンクを介した骨髄等移植実施数: 1,338例(平成24年度実績) 15,389例(平成24年度末までの累計)
-------------	--

③さい帯血移植対策事業

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・さい帯血公開数:25,385個(平成24年度末現在) ・さい帯血バンクを介したさい帯血移植実施数: 1,198例(平成24年度実績) 9,627例(平成24年度末までの累計)
-------------	---

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

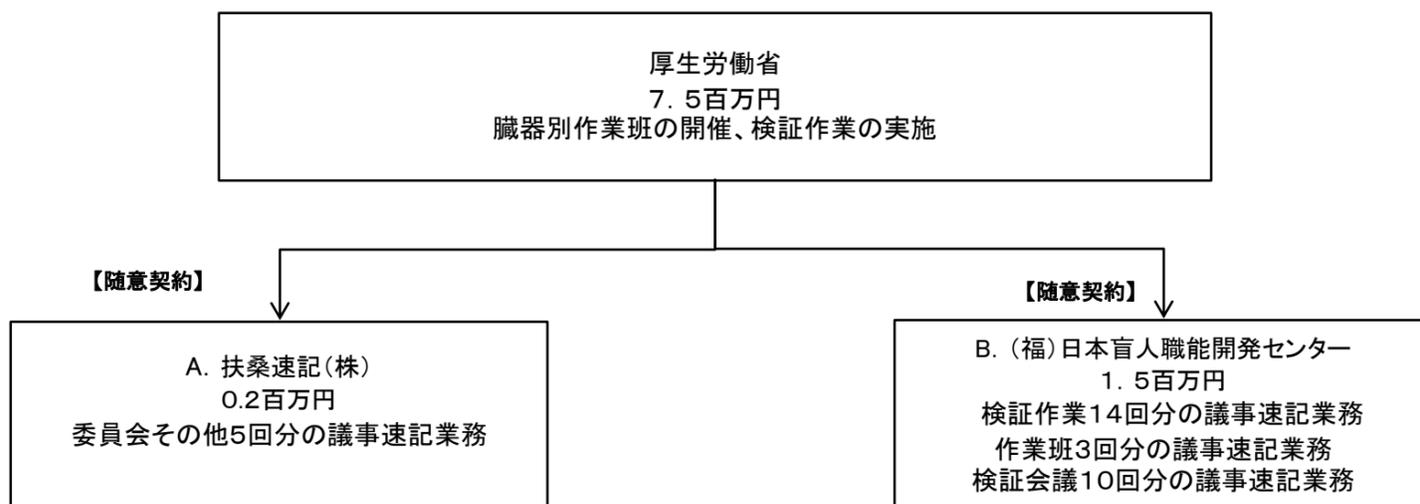
事業名	移植対策費	担当部局庁	健康局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度	担当課室	疾病対策課臓器移植対策室	室長 泉 潤一				
会計区分	一般会計	政策・施策名	I-5-3 適切な移植医療を推進すること					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	臓器移植及び造血幹細胞移植関係等の円滑な運営及び相互連携等を図るため、移植体制等について協議、検討等を行うとともに、学校教育の場における普及啓発を推進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> 適正な臓器移植の実施に必要なガイドライン等の改正に向けた検討を実施するため、各種作業班を開催 脳死下での臓器提供事例が発生した際、手続きが適正に行われたかの検証を実施 臓器等を提供したドナーに対し臓器提供者等感謝状を送付 臓器移植の普及啓発を目的として全国の中学校へ教育用パンフレットを送付 							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	49	40	35	35	34	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	49	40	35	35	34	
		執行額	28	24	24			
	執行率(%)	57.1	60.0	68.6				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	全国の中学校へ送付した教育用パンフレットの活用状況について、アンケートを実施した。(配付校から1,175校を抽出。)その中で、教師により具体的な説明が行われた割合。	成果実績	%	28.0	29.5	27.6	前年度以上	
		達成度	%	-	105.0	93.6		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	臓器移植の普及啓発を目的とした全国の中学校への教育用パンフレットの送付	活動実績 (当初見込み)	枚	4,240,000 (4,240,000)	2,090,500 (2,090,500)	2,090,500 (2,090,500)	- (2,090,500)	
単位当たりコスト	(3.46円/枚)		算出根拠	○単位あたりコストは、教育用パンフレットの作成に要した経費を作成枚数で割ることで算出 $7,241,850円 \div 2,090,500枚 = 3.46円$				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	脳死下での臓器提供事例に関する検証会議費	7	6					
	教育用普及啓発資料作成費	16	16					
	移植対策に関する作業班費	2	2					
	普及啓発活動出席費	0.5	0.5					
	臓器提供者に対する感謝状経費	2	2					
	臍帯血の安全性基準に関する作業班費	3	3					
	許可制導入に伴う現地監査費用	5	5					
計	35	34						

事業所管部局による点検

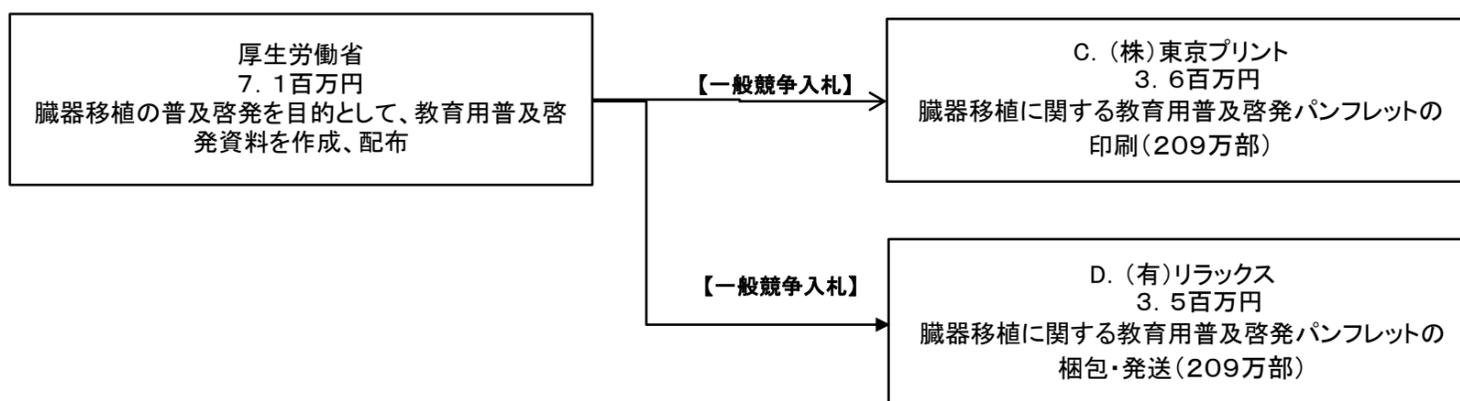
項目		評価	評価に関する説明								
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	移植医療は、提供者はもとより、広く社会の理解と支援があって成り立つ医療であり、平成22年に全面施行された改正臓器移植法において、国及び地方公共団体は、移植医療に関する啓発及び知識の普及に必要な施策を講ずるものとするとの規定が設けられ、一層の普及啓発への取組が求められている。								
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○									
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	臓器移植に関する知識を普及させるため、中学生用パンフレットを全国の中学校に送付し、若年のうちから臓器移植に関する普及啓発を行うことは、本人の意思表示を促進するために有用な施策であり、ひいては臓器移植を推進するために重要な施策であることから、優先度が高いと考えられる。								
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	予算決算及び会計令により認められている少額随意契約を除き、一般競争入札を行っている。								
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	臓器提供の書面による意思表示が有効となる15歳を対象に、臓器移植に関する知識の普及を目的として中学3年生向けのパンフレットを作成し、全中学校に配布している。臓器提供について考え、提供する、提供しないに関わらず、意思表示の拡大が図られるものであり妥当と考える。								
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○	一般競争入札による単位あたりコストの削減に努めている。								
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-								
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	会議開催に係る謝金・旅費や教育用普及啓発資料作成に係る印刷製本費、通信運搬費など事業目的に即した真に必要なものに限定されている。								
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	不用の要因は、教育用普及啓発資料作成費にかかる契約価格が予定を下回ったためであり、次年度の予算には反映されている。								
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	臓器提供の書面による意思表示が有効となる15歳を対象に、臓器移植に関する知識の普及を目的として中学生向けのパンフレットを作成し、全中学校に配布している。臓器提供について考え、家族と話し合うきっかけとなるものとして有効と考える。								
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	24年度の教育用普及啓発パンフレットは中学3年生に配付しており、見込みにあったものとなっている。								
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	臓器提供者等に対する感謝状は、関係団体を通して、適切に渡している。また、教育用普及啓発パンフレットについては、アンケートの回答内容を考慮し、内容をわかりやすくするなど、活用しやすいような努力を行っている。								
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業番号</th> <th>類似事業名</th> <th>所管府省・部局名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名							-
事業番号	類似事業名	所管府省・部局名									
点検結果	臓器移植及び造血幹細胞移植関係等の円滑な運営及び相互連携等を図るため、移植体制等についての協議・検討や、学校教育の場における普及啓発を推進することを目的として、事業を効果的かつ効率的に実施している。 平成24年度は、普及啓発を目的とした教育用パンフレットを全国の中学校へ送付しているが、作成・送付の契約を一般競争入札により行うなど、適切に執行されている。引き続き適切な執行を行うとともに、移植対策事業の推進を図る必要がある。										
外部有識者の所見											
点検対象外											
行政事業レビュー推進チームの所見											
現状通り	本経費については、恒常的に不用が生じている状況であるが、臓器移植及び造血幹細胞移植を円滑に推進するために必要な経費であることから、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。										
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況											
現状通り	-										
備考											
関連する過去のレビューシートの事業番号											
平成22年	151	平成23年	174	平成24年	123						

※平成24年度実績を記入。

・作業班等開催に関する業務



・教育用普及啓発資料の作成、配布



・臓器提供者等感謝状の作成、配布



(※職員旅費、賃金職員等6百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

B.(福)日本盲人職能開発センター			F.国立印刷局		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	会議の議事速記業務	1.5	消耗品費	感謝状用紙の購入	0.9
計		1.5	計		0.9
C.(株)東京プリント			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	教育用普及啓発資料の印刷	3.6			
計		3.6	計		0
D.(有)リラックス			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
通信運搬費	教育用普及啓発資料の梱包・発送	3.5			
計		3.5	計		0
E.大和総合印刷(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	感謝状の印刷	1.0			
雑役務費	感謝状の揮毫	0.9			
計		1.9	計		0

支出先上位10者リスト

A.扶桑速記(株)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	扶桑速記(株)	議事速記業務	0.2	随意契約	
2					
3					

B.(福)日本盲人職能開発センター

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(福)日本盲人職能開発センター	議事速記業務	1.5	随意契約	
2					
3					

C.(株)東京プリント

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)東京プリント	教育用普及啓発資料の印刷	3.6	11	60.4
2					
3					

D.(有)リラックス

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)リラックス	教育用普及啓発資料の梱包・発送	3.5	2	86.2
2					
3					

E.大和綜合印刷(株)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大和綜合印刷(株)	感謝状の印刷・揮毫	1.9	随意契約	
2					
3					

F.(独)国立印刷局

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立印刷局	感謝状用紙の購入	0.9	随意契約	
2					
3					